

わいぶルガの形態の [ ] の計画を樹てるに相違ない。わが関東地方  
評議會は、常にその方針に従つて計画的斗争を敢行すべきである。  
[ ] の具體的計  
画を樹てるに指合して、分合の在る各工場に於て統一的に従業員大  
出放産業諸組合に指令して、要求事項を統一し、着々斗争準備をととのへると同時  
に、未組織工場に対しても、あらゆる方法を用ゐて猛烈なる働きかけを  
なす。その本質を [ ] に参加せしめるやうに努力する。(この場合  
は、無論、関東評議會加盟の全組合が協力して活動する。)

(イ) 更に、即刻全出放産業工場の方針を統一し、各工場別に動  
き始めた全労働者を当面のカンパニア組織に統一的に参加せしめること  
に努力する。

(ロ) 工代会評議は、いふまでもなく、政党、組合、業の關係にかけはりなく  
一切の労働者を擁護することを目標として進展せしめるべきである。

(ハ) 右の目的を貫徹するために、全協、全園労働、總聯合、總同盟、等  
々々と組合評議を擁護することが必要の場合には、無論それを持つべきで  
ある。(だが、一番肝心のことには、従業員大会、工代会評、業による全  
大衆の統一に在ることを見忘るはならない。)

(ニ) かくして、計画的準備が進められるならば、 [ ] を敢行するこ  
とは、決して不可能ではない。既に客觀的條件は充分熟してゐるのだか

ら。(昨年、東京、大阪、神戸、横浜、業の交通労働者相前後して起  
起したにも拘らず、これを統一的 [ ] まで組織し得なかつたのも  
鐘紡の争議を分敵的のものに終せさせたのも、左翼に計画的準備が無か  
つたためである。)

(三) 以上の活動を敏速に有効に遂行するためには、不断に左の努力が行  
はるべきでない。

(一) 関東地方に於ける産業別組合の整理・統一・拡大のための活動。  
(二) メンシツなる工場調査。(全産業に亘る全工場の調査)  
(三) あらゆる斗争題目をとらへて、産業別的地域的工代会評の不断  
の開催

(四) 以上の如き [ ] の計画・遂行は、如何なる場合にも絶対に必要  
であるが、しかし、一工場にまさにはストライキが勃発せんとする時、  
また [ ] の準備が出来てゐないから争議を起してはならぬといふ  
やうな方針をとることは間違ひである。(最近の争議は、ほとんど凡そ  
が、敵の積極的攻勢によつて起される争議だから、それを待たせるやう  
なことは出来ぬ。) よしんば準備が不十分であつても、我々は積極的  
ストライキを敢行し、それを [ ] に発展せしめることに努力すべき  
である。(さうした場合は地域の工代の戦術が特に活用されるべきである)

(五) 更にストライキ戦術の問題としては、斗争組織の問題が特に重要で